

銀座における狭小寺社の存続性に関する研究
—銀座八丁神社めぐりに着目して—

A Study on Sustainability of Narrow Temples and Shrines in Ginza Area
—Focus on “Ginza Hacho Jinja shrines”—

○箱谷柊右也¹, 押田佳子²
*Shuya Hakotani¹, Keiko Oshida²

Abstract: We investigated sustainability of narrow temples and shrines in Ginza. Conclusion, it is clarified that the narrow temples and shrines didn't inconvenient to their scale, in addition, the event produced an association between shrines and the visitor.

1. 背景及び目的—銀座は1丁目から8丁目まで、総面積が1km²に満たない地域である。1603(慶長8)年に徳川家康が江戸幕府を開いたところから始まり、行政区画整理や煉瓦街建築など様々な政策により都市化され、現在は世界に名の知れた繁華街となっている^[1]。

一方で、近世より密集地であったため災害には弱く、特に明治時代に起きた2度の大火は、住戸や商店のみならず地域に祀られた寺社をも焼失させ、被害は甚大であった。大火後に煉瓦街建築が計画された際に伝統的な街並みを好む旧来の住民は転出し、その後銀座の街並みや生活様式は大きく変容した^{[1][2]}。そこで先行研究では、この際に大きく変化した神社の在り方に着目し、東京都中央区に立地する独自の敷地を持たない神社あるいは建物内にある神社を「狭小神社」とし、その再建プロセスと施設構成、地域との係わりを捉え、地域に根差し継承されてきた維持型、移転することで継承されてきた移転型、新設・復活型に3分類した^[3]。特に銀座地区では、氏子数の減少に加え、狭小神社の施設構成が簡素でありながらも賑わいが生じている理由として銀座八丁神社への参加が確認された。そこで本稿では、銀座八丁神社めぐりに係わる11寺社を対象に、銀座における狭小寺社の存続性を明らかにする。

2. 研究方法—本稿では、銀座八丁神社めぐりに参加している11寺社を対象に文献調査を行い、更に、調査協力を得られた4寺社にヒアリング調査を行った。Table1に調査概要、Figure1に対象寺社の分布を示す。

3. 結果及び考察—Table2に調査協力を得られた寺社のヒアリング調査結果を示す。以降Table2に従い、管理・運営状況、活用状況、銀座八丁神社めぐりにおける各寺社との係わりを述べる。

Table1 Outline of the survey (調査概要) (This is original table by authors)

調査対象	銀座八丁神社めぐりに参加している11寺社	
調査期間	2018年5月15日~2018年9月15日	2018年6月10日~2018年9月15日
調査方法	文献調査	ヒアリング調査
調査項目	各自社の存続状況 現在の管理状況など	Table2中のQ1-Q8

3-1. 管理・運営状況—各寺社の存続状況をみると、他の場所より移転した①幸福稲神社と④朝日稲荷神社は、いずれもそれぞれ都市開発に伴う建て替えにより、同敷地内での近距離移転をしている。④朝日稲荷神社については、本来地上階にあった境内がビル建設に伴いその屋上に本殿を構えるようになったため、拝殿のみを地上に設けた^[4]。新設された2社については、いずれも百貨店である松屋銀座、銀座三越の屋上に鎮座し、商売繁盛や社員の安全祈願を祈念されている。

神主についてみると、神社3社には神主はおらず、いずれも祭祀の際に日枝神社の神主が兼務していた。ヒアリングより、この兼務については近世より継承されていることが確認され、神社の形態が変化しても祭祀を通じた繋がりや継承されることが確認された。また管理者・関係者において地元町会との係わりがみられたものは①幸福稲神社と④朝日稲荷神社の2社であり、他の2寺社は各々が立地するビル所有企業が管理

(This is original figure by authors)

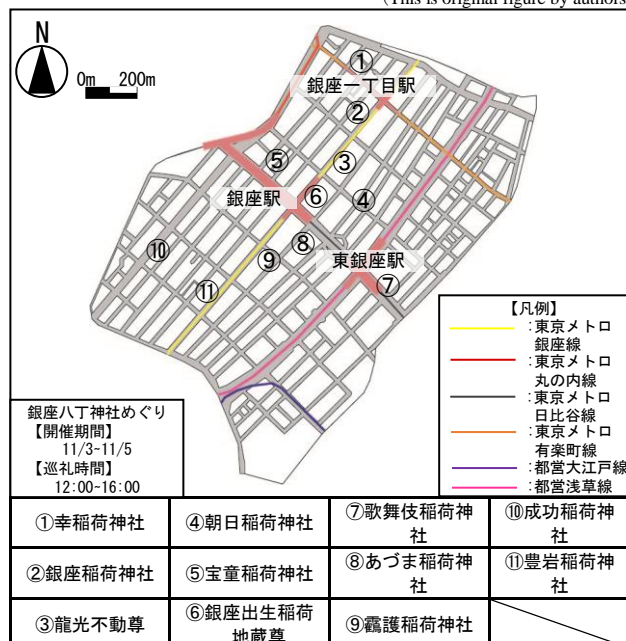


Figure1 Districts map of temples and shrines (対象寺社分布図)

1 : 日大理工・学部・まち、2 : 日大理工・教員・まち

者であった。氏子については、全てにおいて地元住民の氏子はおらず、会社やビルの店子としての係わりから、町会の関係者が管理している状態が捉えられた。

管理内容をみると、基本的に全ての寺社において、お供えや水替え、清掃が行われており、境内を清めるという最低限の管理が行われていることがわかった。

3-2. 活用状況—祭祀については神社 3 社において銀座八丁神社めぐり以外の祭祀が 1 つ以上実施されており、その都度神主を招致して信仰されていることが確認できた。狭小である利点並びに、今後の寺社動向については、4 寺社とも狭小であることへの不便さを感じておらず、その理由として①幸稲荷神社については土地が無償で借りられている、④朝日稲荷神社については小さいが故に管理が簡易である、という回答が得られた。またこの両社については、これまでに都市開発による移転を繰り返しているため、今後、都市開発による再度の建て替えが生じた場合においても、最良の形で残していく意向であるという回答が得られた。

3-3. 銀座八丁神社めぐりにおける各寺社との係わり—銀座八丁神社めぐりとは毎年 11 月 3 日から 11 月 5 日の 3 日間開催されるイベントである。一般参加者が御朱印巡りと称したスタンプラリー形式で 11 寺社を巡る、街歩きをするものである。元々、御朱印を持っていた神社は、②龍光不動尊をはじめとする一部であったが、他の寺社はイベント用に詔えている。銀座八丁神社めぐりへの参加人数は年々増加傾向にあり、参加している 11 寺社が商業の町銀座における地域資

源として活用されていることが窺える。具体的には、資生堂の本社の屋上に祀られている⑩成功稲荷神社や、越後屋の屋上の②銀座稲荷神社は普段非公開であるが、銀座八丁神社めぐり開催時には、参拝できるよう地上に社殿が設けられ、期間限定で公開されている。通常は、セキュリティや管理による関係から企業の神社は一般公開されないものが多いが、期間限定、かつビルに立ち入らない形での公開することにより、管理者への負担がかからず、且つ地域貢献に繋がるため、今後もこれらの寺社は参加していくであろう。

4. まとめ—以上より、銀座の狭小寺社は、これまでの移転や縮小、都市構造が変化した後での新設などにより、地域住民との係わりがないことが明らかとなった。一方で、銀座八丁神社めぐりの開催は、一般参加者が気軽に参加できることで、狭小神社を隠れた地域資源として認識する場となっていることが窺えた。管理者らが狭小であることへの不満を持っていない現状より、狭小神社は同地区に存続することは確実といえ、今後は観光や地域まちづくりのツールとしての在り方が求められるといえよう。

5. 謝辞

本研究の調査には、11 寺社の管理者様、関係者様並びに、日枝神社の神主様にご協力頂き、厚く御礼申し上げます。

6. 参考文献

- [1] 石井研士, 銀座の神々, pp.9-21, pp43-44, pp.209-216, 新曜社, 1994
- [2] 野口孝一, 銀座物語, pp.28-53, 中央公論社, 1997
- [3] 兼井美咲ほか 1 名, 現代における狭小神社の存続性に関する研究—東京都中央区ケーススタディとして—
- [4] 朝日稲荷神社社務所, 朝日稲荷神社社史, pp.7-14, 1992

Table2 Surveying results of temples and shrines(寺社概要)

(This is original table by authors)

神社名	①幸稲荷神社	③龍光不動尊	④朝日稲荷神社	⑥銀座出生稲荷地藏尊三囲神社
各神社の存続状況	 銀座升本 A から B に移転	 松屋銀座 松屋銀座屋上に新設	 昭和 36(1961)年敷地角に位置 1 階: 拜殿 屋上 昭和 58 年ビルの建立に伴い屋上に本殿 1 階に拜殿	 銀座三越 銀座三越の屋上に新設
01. 神主	日枝神社神主兼務	いない	日枝神社神主兼務	日枝神社神主兼務
02. 管理者・関係者	銀座升本(居酒屋) 西銀座一丁目町会副会長	松屋庶務部庶務課	社務所 3 人, ビルの管理者(雇)	銀座三越総務部
03. 氏子	いない (町会の会員が関係者)	いない	銀座三丁目崇敬者	店長以下社員
04. 管理内容	お供え, 水替え	不定期に植木の剪定をおこなっている	水替え, お供え, 清掃	いつでもお参り出来る様に清めている
05. 祭祀	銀座八丁神社めぐり 初午祭	銀座八丁神社めぐり 年 3 回例祭を実施	銀座八丁神社めぐり 初午祭	銀座八丁神社めぐり 銀座出生稲荷地藏尊 毎月 7 日月例法 三囲神社 毎月 1 日月例祭
06. 狭小である利点	無償に借りている土地 欠点なし	なし	管理が簡易	なし
07. 今後の寺社の動向	現在はなし	なし	現在はなし	なし
08. 銀座八丁神社めぐりの周知状況	銀座八丁神社めぐりのパンフレットに掲載されているが、自らは行っていない	銀座八丁神社めぐりのパンフレットに掲載されているが、自らは行っていない	銀座八丁神社めぐりのパンフレットに掲載されているが、自らは行っていない	銀座八丁神社めぐりのパンフレットに掲載されているが、自らは行っていない
09. 御朱印	なし	あり	なし	なし